

経営比較分析表（平成29年度決算）

北海道 上ノ国町

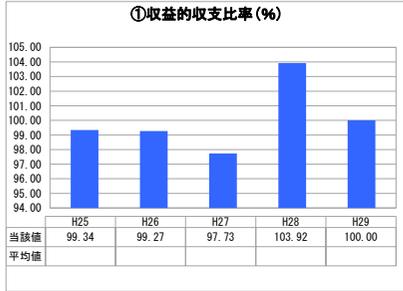
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	64.12	75.36	4,158

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,988	547.71	9.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,158	1.35	2,339.26

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



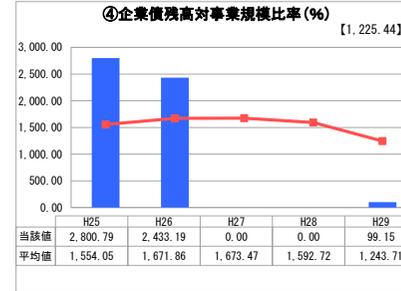
「単年度の収支」



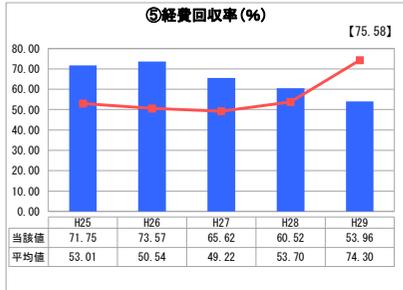
「累積欠損」



「支払能力」



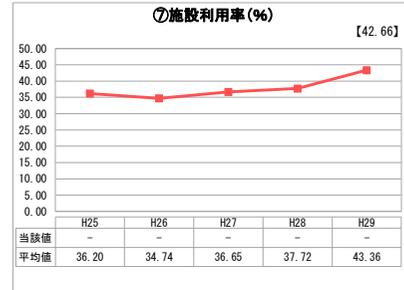
「債務残高」



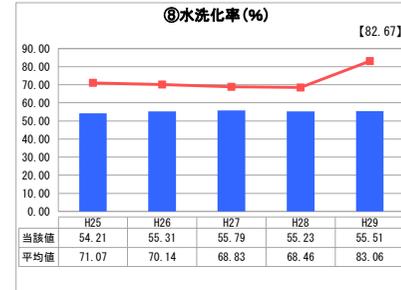
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

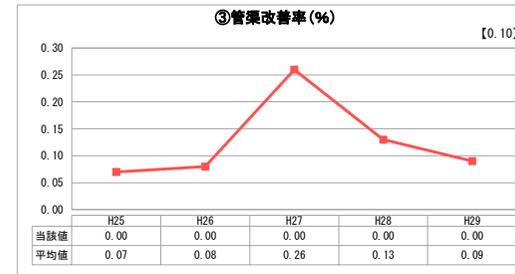
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

汚水原価が高くなり、水洗化率が5割程度と低い
ため、維持管理費を抑える必要がある。
更に、効率的な維持管理手法や職員一人一人の
コスト意識の醸成による維持管理費の削減。

2. 老朽化の状況について

マンホールポンプ、伝送制御機器等関係の老朽化が
進んでいるため、社会資本整備総合交付金の補助
を受け、計画的にマンホールポンプ、電気計装等の
更新工事で老朽化対策を講じている。

全体総括

人口減少に伴う水道量の減少等も踏まえ、接続推進
と水洗化率の向上に取り組み、適正な使用収入の確
保に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。